

*本リリースは 11 月 20 日に米国アトランタで発表されたリリースの翻訳です。

2014 年 11 月 21 日

デルタ航空、エアバス A350-900 および A330-900 ネオを計 50 機発注

顧客エクスペリエンス、経済性、資本配分を重視して選択

【アトランタ、2014 年 11 月 20 日】– デルタ航空 (NYSE:DAL) は、旧世代の B747-400 型機材および一部の B767 型機の後継機として、エアバス A350-900 と、同 A330-900 ネオを選択したと発表しました。A350-900 は 2017 年に、A330-900 ネオは 2019 年に納入開始の予定です。

エアバスの最新鋭 A350-900 型機 25 機と現行タイプの進化型である A330-900 ネオ 25 機の発注は、デルタ航空の現行の座席供給量および資本投資計画に沿ったもので、機材には堅実かつコスト効率の良い投資を行うというこれまでの方針を踏襲するものです。

機材戦略担当副社長、ナット・パイパー (Nat Pieper) は次のように述べています。「デルタ航空では常に、経済性、顧客エクスペリエンスの向上、路線との融合性、および総所有コスト (TCO) のバランスを考慮して機材を決めています。A350 と A330 ネオの 2 機種は、大洋横断の長距離路線戦略をサポートするものです。また、ボーイングとエアバスの機材を両方保有することにより、デルタのグローバルネットワークにおける機材繰りの柔軟性を向上し、株主の皆様にも利益を還元することができます。」

A350-900 型機

航続距離が長い A350-900 型機は、主にアメリカとアジアを結ぶ長距離路線に使用され、太平洋路線網の最適化を推進します。現行のボーイング 747-400 型機に比べて、座席あたりの運航コストは約 20% 向上する見込みです。2017 年第二四半期に納入開始予定で、ロールスロイス社製のトレント XWB エンジン 2 基が搭載されます。

A330 ネオ (A330-900 型機)

ワイドボディ機 A330-900 ネオは、航空力学的かつ経済性に優れたエアバスの人気機種 A330 ファミリーの派生型で、大西洋横断の中距離路線と、アメリカ西海岸とアジアを結ぶ路線の一部に使用する予定です。2019 年に納入開始予定で、現行のボーイング 767-300ER 機よりも座席あたりの運航コストを 20% 節減する見込みです。A330 ネオは、A350 のトレント XWB に近いテクノロジーを採用したロールスロイス社製のトレント 7000 エンジンを 2 基搭載します。

デルタ航空は 2011 年に機材刷新計画を開始し、B737-900ER、B717、ボンバルディア CRJ-900 を採用し、続いて A321 と A330 型機の導入を決定しました。これらの機材は燃費効率の悪い旧型機の後継機として使用され、顧客満足度の向上と大幅なコスト削減を実現しています。デルタ航空では、国際線および国内線用のすべての機材において、機内プロダクトやアメニティへの投資を続けており、機内エンターテインメントの充実や機内 Wi-Fi の国際線への導入を含むサービス向上を推進しています。

デルタ航空について

デルタ航空は年間約 1 億 6,500 万人の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。米国の航空業界誌エア・トランスポート・ワールド (ATW) 誌により、2014 年の「エアライン・オブ・ザ・イヤー (2014 Airline of the Year)」に選出されたほか、フォーチュン誌の「2014 年世界で最も賞賛される企業リスト」の航空業界部門 (2014 World's Most Admired Companies Airline Industry List) において、4 年間で 3 度目の 1 位を獲得し、「世界で最も賞賛される企業」トップ 50 社にも選ばれました。デルタ航空およびデルタ・コネクションは、世界 58 カ国、318 都市に向けてフライトを運航しています。米国ジョージア州アトランタに本社を置き、世界で 8 万人近い従業員を擁し、700 機以上の主要機材を運航しています。航空連合 (アライアンス) 「スカイチーム」の創立メンバーであり、大西洋路線においてはエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空、およびヴァージン アトランティック航空と共同事業を展開しています。アトランタ、ボストン、デトロイト、ロサンゼルス、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク (ラ・ガーディアおよび JFK)、ソルトレイクシティ、シアトル、アムステルダム、パリ (シャルルドゴール)、東京 (成田) をハブ空港および主要マーケットと位置づけ、提携航空会社と合わせて一日に 1 万 5,000 便以上のフライトを運航しています。機内および空港での顧客エクスペリエンスの向上を目指し、空港施設や機内プロダクトの改善、サービス向上とテクノロジー導入に数十億ドルを投資しています。詳しくはホームページ delta.com をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部 岡田/松元

e-mail: corpcommjapan@delta.com

ニュースルーム: <http://news.delta.com/>